

令和4年度 第1回登別市地域公共交通活性化協議会 議事録 要旨

開催概要

日 時 令和5年1月19日(水) 13:30～
場 所 登別市役所 2階 第1委員会室及び第2委員会室
出席者 別紙のとおり

議事内容

1 開会

2 千葉会長あいさつ

皆様こんにちは、今日の協議会の会長を仰せつかっております登別市市民生活部長の千葉と申します。よろしく申し上げます。本日はお忙しい中お集まりくださりましてありがとうございます。本協議会は昨年3月に地域公共交通計画の策定を皆様と完成することができました。ありがとうございます。またこれからは計画の実行というところにも入っていくかと思えます。また改めてご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日の議事ですが昨年来から情報提供させていただいてますグリーンスローモビリティを始め、現在行っている取り組みの方をご紹介させていただきます。どうぞ忌憚のないご意見を願いたします。この協議会は2回程度、コロナの影響で書面会議ということでさせていただきましたが、今回はお集まりいただきました。ただ、胆振管内はコロナがまだ全然減っていない状態にありますのでスピーディーに会議を進めさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 会議の成立報告

- ・本日の協議会委員出席者数は12名。
- ・委員の過半数が出席しており、登別市地域公共交通活性化協議会設置要綱の規定に基づき、会議が成立していることを千葉会長が報告。

4 議事録署名委員の氏名

- ・千葉会長が工藤委員と秋山委員の2名を議事録署名委員に指名。

5 議事

(1) 登別市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正について

【説明者】登別市地域公共交通活性化協議会事務局

- ・別紙資料に基づき内容を説明

【委員からの主な質疑等】

- ・なし

【審議結果】

- ・承認

(2) グリーンスローモビリティについて

【説明者】日本データサービス株式会社

- ・別紙資料に基づき内容を説明
- ・道南バス登別温泉バスターミナルを出発し、南側の「はなや」を經由する路線と經由しない路線を検討しているが、ルートは、市道から最初の「はなや」を經由しまして左側の道道に迂回路として運行を予定している。ターミナルに戻り、今度は極楽通り商店街を北上し、「地獄谷」に向かう。「地獄谷」から「泉源公園」まで戻り、「足湯」まで北上し、再度「地獄谷」に戻り、「泉源公園」から極楽通り商店街を南下し道南バス登別温泉ターミナルまで行くというのが一つのルートとして考えている。
- ・平日ダイヤは、14:30 から 18:55 までの間に休憩を挟みながらグルグル運行し、1つの運行ルートは20分としており、昨年度の実証運行の実績を基に所要時間を設定している。
- ・資料4ページの運行ダイヤで1便や3便といった色が塗られていない便は、「はなや」を經由しない。平日は、1車両で9便を運行する。
- ・休日ダイヤは、赤鬼号は「はなや」を經由しない便で、9:00 から途中休憩を2回挟み18:00 までの運行を予定している。1便あたり20分を予定している。
- ・青鬼号は「はなや」を經由し、1便あたり25分を予定しているため、9:00 から19:00 まで途中に2回の休憩を挟み運行する。
- ・運行ルートとダイヤについては、地元の極楽通り商店街や旅館・ホテルのオーナーとの会議、打ち合わせを十分しながら決めてきた経緯がある。
- ・運行日数は、4月から11月までの運行を予定し、平日は毎週火曜日を運休日とし、お盆の8月は14日及び15日も休日ダイヤとして運行。5月のGWは2日は火曜日ですが平日ダイヤとして運行を考えている。
- ・3月中に実証運行を実施し、問題がなければ4月1日から11月30日まで運行を予定している。
- ・平日に空く1台と、火曜日に空く2台は、グリーンスローモビリティが珍しい車両であり乗ってみたいというニーズが相当数増えているため、視察受入を予定しており、登別市のSDGsや脱炭素の行政視察、紅葉シーズンなどの団体貸切を検討しており、1団体あたり5万円程度の運行を予定している。
- ・収支は、総額の運行経費として500万円程度で、収入は1回利用で200円、1日乗車券で500円を予定しており、利用料金では355.9万円を予定している。140万円程度の赤字は、国の地域内フィーダー系統という補助金を申請し半分を補填する。もう半分は企業からサポートとして宣伝広告費をいただき、車両に企業の宣伝を貼る仕組みを考えている。
- ・乗車料金の支払いは、現金收受のほか、QRコード決済（paypay やアリペイ、AUPAY など）を導入していきたい。
- ・1日乗車券については、登別国際観光コンベンション協会のご協力の下で湯めぐりパスポートなど付加価値を高めながら1日乗車券を乗っていただくなど利用促進についても検討している。
- ・最終の案は次回の協議会で審議いただき、本日の会議では、道路運送法第78条の申請について了承をいただき進めたい。

【委員からの主な質疑等】

■ A 委員

Q 1 : モビリティの形状について、窓ガラスがなく、雨の日や風の強い日はなにも遮るものがなく、乗車しているお客さんが濡れるだとか物が飛ばされるなど心配は無いか。

A 1 : 窓の外にロールカーテンを装備しており、雨の日はそれを下げて運行するため、風が強い日でも対応できる。既に導入している他市町でも問題なく運行できている。

Q 2 : 車両は2台で、納入されたばかりなので故障はないと思うが、万が一故障で動かなくなった場合はどうするのか。

A 2 : 車両は群馬県のシンクトゥギャザーという会社から納入するが、その後は道南バスにメンテナンスをお願いすることを考えており、道南バスにメンテナンスの実施方法も直接教えてもらう予定であります。

Q 3 : 車両がどうしても動かせない場合は運休扱いになるのか。スクールバスを走らせるなどあるのか。

A 3 : 運休の予定です。

■ B 委員

Q 4 : 資料ではダイヤとなっているが、一応、フリー乗降の運行か。

A 4 : フリー乗降です。ただ「はなや」から道道を迂回する部分は乗降なしとなる。極楽通り商店街から北上するものについてはフリー乗降で手を挙げれば乗れる形で考えている。

Q 5 : バスロケーションシステムは既存のバスキタに溶け込むようなイメージか。アプリケーションをダウンロードするのか、サイネージで表示するのか。

A 5 : 新しく導入しグリーンスローモビリティのみのバスロケの情報と言うことになる。あくまでもサイネージ上での表示。サイネージは調整中だが、基本的には全ホテルのロビー・観光協会とバスターミナル。

Q 6 : 運賃で1回200円と1日500円とあるが、1日の500円というのは1泊2日で宿泊する方に対しての500円なのか、1日500円で2日乗る場合は1,000円になるのか。

A 6 : 1日で500円、2日乗る場合は1,000円です。この運賃設定も本当に何度も地元と協議したが色んなパターンが出て、1日100円だったりとか、乗り放題300円だったりとか、1泊2日で700円とか色んな意見が出たのですが、まずは1回200円、1日500円でやってみて、それで断続的にトライアンドエラーでやっていきたいと思いますという風にしておりますので、まずは200円500円と言うことでご理解していただければと思います。1番問題だったのは宿泊客は無料にしようという声があり、その分は各ホテルで負担したいという声もたくさん出ていましたので、将来的にはそういう形を実現することができればいいなと考えております。

Q 7 : グリスロの乗車料金の支払い方法で、ペイペイですとか色々出ていますけども1回1回200円を財布から出してとなると、乗っている方々はやっぱり若干イライラするのかなというところがあるので、実際に導入した後に、徐々にこういうところに対応していくと思うが、運賃ですとかどういう形でやっていくのかという所に関しては、次年度以降で再検討することと思うが。

A 7 : 池袋でイケバスと言うのが 10 台くらい走っているが、そちらも QR と現金両方あり全体でいうと 7 割が現金という風にいわれており、今回も一応現金箱は設置させていただきます。
感想 : 非常に面白い企画が備わっていると思いますので、こういう新しい観光商法ですとか、3 ページをみると地獄谷や足湯の所につながたりしますので、この辺のフットパスがバス + α の観光となっていて良いのかなと。

■ C 委員

Q 8 : 料金の関係で、障害者割引とか高齢者割引などは考えているか。

A 8 : 今考えているのは、地元の方は無料にしましょうとかそういう割引も考えており、そこは運行した後に調整しながらという形とを考えている。正確には無料ではなく市の方で負担しましょうというような形にはなるが、その辺も並行して検討していく。

Q 10 : この協議会で試乗体験とかそういうことは計画されているか。

A 10 : ぜひ試乗会を開催させていただきよう調整はさせていただきます。

■ B 委員

Q 11 : 12 ページ目の運行収入と収支について、収入の方で運賃とフィーダー、サポーター等となっていて、普通、登別市からの補助は受けるというものではないのか。入れないということになると生活路線という意味づけではなくなってくるのか。

A 11 : 現時点では市の補助は入れないです。あくまでも基本はフィーダーを入れます。生活交通については、アンケートを行うとホテルで働く従業員の方が通勤とか帰宅で使いたいとか、寮に住んでいる方がセイコーマート・セブンイレブンで買い物に來たりとか、そういう所がございましてベースは生活交通という位置づけです。

Q 12 : 生活交通の位置づけがないと、先ほどの高齢者に対して割引などの部分がなかなか入っていかない可能性がある。立て付けについてはこれ以降の協議会でぜひ検討いただきたい。

A 12 : 補足ですが、2 月に予定しております協議会でフィーダーの話のほか、計画の多少見直しといった部分についても提案したいと思っていますし、フィーダーを申請する上では生活交通という位置づけが必ず必要になってきますので、そのあたりの部分をしっかり説明させていただきたいなという風に考えている。

■ D 委員

Q 13 : はなやに向かうところで、道南バスから市道降りて道道の所に向かうのか、市道降りて右折する感じなのか。

A 13 : 道南バス登別温泉ターミナルを出て、全部右折右折です。

Q 14 : 車両保険は市で入っているのか。

A 14 : 調整中だが、道南バスで一括で入る予定。

Q 15 : 時速は最大で何キロか。上りだと 10 キロ切れる感じか。

A 15 : 最大 19 キロです。ただ実際に前回の実験では、最高速度 19 キロだが乗り降り動いたりストップしたりすると平均 12 キロだったので、今回の時刻表は 12 キロで設定している。上りでも 19 キロ出る。今回 1 番長い区間がその石水亭の前だが、そこで実験するとまあまあいいけた。

意見：結構スピード出してる車がはなやさんからあり、追突される可能性があるので何かちょっと注意した方がいいのかなと思いました。

■ E 委員

意見：こういう事業は大変これから楽しみであり、運行によって誰もが優しい環境づくり、そして交通事故の減少とか観光客の拡大などには、本当にこれからそのような事業は有意義な物かなと思っている。ですが、これは一部の旅館・ホテルでなくて、やはり温泉地区の住民・市民の方にこういう事業についてアピールして啓発してもらおう。そういうのが一番、素人的には大事なことではないかなと思っている。

地域一丸となってこの事業を発信していくというのが大事なのではないかなと思う。温泉地区ばかりでなく登別市全体で、市にはこういう事業があるということを登別市民が発信できるよう、多くの市民に分かってもらう、理解してもらう、そしてみんなが観光を発信するというような体制作りをやっていくというのがあると思っている。

また町内会もこのような事業について理解してもらおう、そして発信してもらおうということも進めていきたい。温泉地区の連合町内会もあるので、啓発をお願いできるかなと思う。

■ B 委員

Q16：運行ダイヤで、道南バス登別温泉ターミナル前での接続に関してはどういうところでつながっているか。

結局グリーンスローモビリティという話をするとき公共交通でJRを例えば使って、バスで上がって行って最後のワンマイルのこの接続がうまくいかない大きな意味ではなかなかグリーンっていう風に張れなくなってしまうので、そのあたりは2月の協議会でまた色々調整していただくということよろしいか。

A16：資料は見た目をシンプルに分かりやすくしたが、平日は割と時間に余裕があるため路線バスとのアクセスはできるように調整する。

【審議結果】

- ・道路運送法第78条の申請については、了承。
- ・その他の事項については、確認事項等を含め、次回の協議会で諮る。

(3) バスの乗り方教室について

【説明者】登別市地域公共交通活性化協議会事務局

- ・別紙資料に基づき内容を説明

【委員からの主な質疑等】

■ B 委員

Q1：バスロケーションシステムの使用方法はバスキタの方法を説明したということか。

A1：バスキタである。

意見：バスキタも非常に汎用性があると思うが、路線の部分だと普通にグーグルマップで済んでしまうところもある。道南バスがバスデータを公表化していただいたので、これが出る情報を次回以降は教えていただけると非常にありがたい。

(4) 公共交通事業者燃料価格高騰対策事業について

【説明者】登別市地域公共交通活性化協議会事務局

- ・別紙資料に基づき内容を説明

【委員からの主な質疑等】

- ・なし

(5) その他

【事務局から】

- ・次回会議の日程調整の説明。

6 閉会

【千葉会長】

- ・以上をもちまして、令和4年度第1回登別市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。
- ・本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

以上